

## 与板地域委員会協議項目一覧表

協 議 項 目	理 由
1 ウォーキングについて	<p>各個人(仲間)でウォーキングをやっている人たちを組織化することにより内容の充実が図られる。</p> <p>地域住民の関心(健康)が高くランニングコストがあまりかからなく継続が可能、老若男女誰でも参加可能でより多数の参加が見込める。</p> <p>たちばな河川公園、天地人通り、まちの駅、楽山苑、城山、うまみち森林公園等の地域資源活用が図られる。</p>
2 西山丘陵の利用率向上策について	<p>NHK大河ドラマ天地人放映で、城山が整備されたので年間を通じて地域住民から利用促進してもらいたい。</p> <p>うまみち森林公園と城山までの遊歩道を整備(開発)することにより安全かつ気軽に利用できる環境づくりが可能。ウォーキングコースとして利用増加が期待できる。</p>
3 コミュニティセンターの利用促進策について	<p>コミュニティセンター内にカラオケルーム(歌声喫茶室)を設けて利用促進を図る。</p> <p>より多くの人に興味を持ち、より多くの人に参加でき、より多くの人を楽しめる場所(環境、組織化)が必要。</p> <p>初期投資が多少多くかかっても、ランニングコスト(金、人、物)があまりかからない。従来はややもすると、偏った予算付けが行われているように見受けられた。(本、看板、マップ等歴史に関係した物)</p>
4 町内会の在り方について	<p>合併後も旧態のまま町内会組織化が行われている。(数世帯の町内と数百世帯の町内が一同に会して行事等の話し合いが行われている)将来を見据えた体制づくり、経費削減策を考えた場合、運用面は現町内を活用し、組織的には最低でも100世帯位にする組織化。(何か行事をやる場合、半数以上の町内が人数が足りません、人がいまして善後策が数町内合同で参加してくださいで終わって全く前進がない)この問題は行政側からは出しづらいので住民側からの提案が受け入れやすい。</p> <p>何年か後にこの事業提案(企画)は、当時の地域委員会から出されたものであると後世に名を残せるものになりたい。</p>

## 与板地域委員会協議項目一覧表

協 議 項 目	理 由
5 「与板、再発見」と「人づくり」 について	<p>前委員会が提案した「与板、再発見」「人づくり」事業の継承、発展を通して地域への理解を促し、地域への愛着や誇り、郷土の歴史や文化を大切にしたい。</p> <p>一例として、牧野氏による長岡藩が成立して、今年で395年。5年後の2018年には長岡開府400年を迎える。旧市役所内に牧野氏関係資料の展示施設の整備が進められ、本年5月には「長岡開府400年記念事業検討懇談会」も開催されたと聞く。</p> <p>与板も、長岡藩初代藩主牧野忠成の2男康成を初代として、3代康重が信州・小諸に移されるまで、牧野氏による治世が続いた。</p> <p>長岡開府400年事業も視野に入れ、「与板、再発見」「人づくり」の観点から、牧野氏・幕府・井伊氏与板藩の歴史・文化、城下町与板などの魅力の発掘、整備、地域への啓発を考えてみたい。</p> <p>また、与板の次代を担う小・中学生ら青少年に郷土愛を育み、郷土の歴史や文化への興味・関心を促す機会やその在り方などについても考えてみたい。</p>
6 地域資源の活用	<p>昨年までの協議をさらに進めていくことも必要かと思われる。</p>
7 健康でいきいきと暮らせる与板	<p>地域住民がいきいきと暮らせるには、何をするにも健康であることが一番大事だと思われる。</p> <p>高血圧などの生活習慣病の予防や心の病の予防など、保健指導のほかにも何か変えていくことは出来ないか考えたい。</p> <p>ノルディックウォーキングの普及や笑いのヨガの実践、公園でのラジオ体操など、体を動かすことと人とのふれあいで心身ともに健康である与板人を目指したい。</p>
8 町づくり 仕事、働く場の創出	<p>高齢化社会になって退職した人や元気な年配の方々が、何か出来るような仕事の創出は出来ないものか。</p> <p>ボランティア活動も良いが、少しでも収入が得られれば生きがいにもなる。</p>
9 与板町の観光化を強化、充実させる	<p>ライトアップで与板の名前が知られ、楽山亭の活用も知られるようになってきた。しかし、遠来の人への食事をする所もなくまだ不備である。お船ミュージアムの活用も、もっと多彩にすべき。志保の里荘の利用をもっと活発に。</p> <p>若い人にもアピールを。</p>
10 防災について	<p>避難場所の検討・備蓄品、備蓄量の検討</p> <p>救助の方法、手順</p> <p>救護対策や原発事故への対応はどのようになっているのか。他町村へ避難の場合の連携、協定などはいかに？</p>

## 与板地域委員会協議項目一覧表

協 議 項 目	理 由
11 地場産業	与板町の最盛期の頃は、地場産業が全国の金物組合や刃物業界に通用しました。 今は、何かしなければならぬと思ひ与板町匠会が立ち上がりました。 産業課とともに各地に出向き商品の売り込み、説明など多くの皆様より商品知識をと努力していますが、世の中の建築様式も変わり、電動工具の時代、なかなか思うように行かないのが今日です。
12 少子高齢化について	若い人たちが新しい土地を求めて古い家をそのままにして、今日、町並みが空き家になり消滅していくのが現状。だから今、何かしなければ、どうしたらよいか。
13 与板三代祭について	楽山苑 先日の新潟日報の一面で与板以外の人々が集まる。 別院のお取越  十五夜祭 お金を集めて何か・・・
14 天地人の歩行天国	お祭の時に昔の遊びをもちより子どもたちに・・・また、池袋、新宿などによく集まるアコーディオン、ギターの演奏で歌声で楽しむなど・・・
15 地域住民満足度アンケートの実施	「与板地域の住民が与板地域に住むことにどれだけ満足しているか」を統計的に分析する。対象範囲、全員かサンプリングか、調査項目、調査方法等いろいろと工夫することは多いと思うが日頃、あまり声が聞こえない大多数の住民の生の声を分析することは、大変意味があると思う。また、継続的に実施することで、行政にとっても有効な指標となると思う。  (質問例) 与板は好きですか、嫌いですか？ 与板の魅力は何ですか？(選択肢から) 与板に不足しているもの(悪い点)はなんですか？(選択肢から) もし、住む場所を探している友人がいたら与板に住むことを勧めますか？ 自分の子どもにも与板に住んでほしいと思いますか？ 行政に期待することは何ですか？ 各種住民サービスの満足度。上下水道、ゴミ処理、除雪等々
16 共に暮らせるまちづくり	これからの地域での生活はますます「共助」が求められていながら、その基盤となる地域でのお互いの関係は、希薄である部分も少なくありません。何をきっかけのテーマにすればよいかわかりませんが、住民間のつながりが日常を豊かなものにするという実感が得られるような取り組みができないかと考えます。(現在も行われている様々な行事の目的にそのことが入っていることは承知しております)  障害があっても、高齢であっても小さな子どもがいても、どんな人であっても地域で暮らし続けられるお互いの関係とはどういったものなのか、地域の皆さんと共に考えていけるような仕掛けを考えたいです。

与板地域委員会協議項目一覧表

協議項目	理由
<p>17 まちづくりシンポジウムの継続</p>	<p>将来の人づくりをつなげていく。26年度シンポジウムについても、先回出されて実施されていない提案について再検討。</p> <p>新たに考えられる内容等をさらに検討していきたい。実施された講演シンポジウムについては、やりっぱなしではなく、その結果を冊子に残すとか、きちんと検証していきたい。</p> <p>よいたコミセンが4月からスタートしソフト面では、各団体がそれぞれ与板のまちづくりのために活発に動き始めているように思われます。地域委員会ではハードを含めこれから5年後、10年後明らかに核家族で同居していない高齢世帯が増えていくと思われます。過去を振り返り現在をみつめ未来につなげていく町づくりに、今、何ができるか、すべきなのか話し合いたいです。</p>
<p>18 アンケート事業</p>	<p>地域委員会発足以来(その前も含む)先輩方のご苦勞により様々な事業が実施され、楽山苑ライトアップ、中川清兵衛ビールフェスタ、最近では「なごみの会」による楽山亭活性化事業や与板出身画伯の絵画展また、集大成ともいべき「まるごと与板」等いくつかは、今後も県内外の方々を呼び込む事業に成長したと思えます。</p> <p>各事業ごとにアンケートを取られて事業の検証資料として活用されているものと思いますが、各事業横断的なアンケート調査は、過去に実施されているのでしょうか。</p> <p>私たちは、与板にこんな歴史・文化・建造物・催事(祭)等自慢できるものがあると思っていても外部の方の評価はわかりません。</p> <p>それとよく言われる各ポイントとの有機的なつながり、ポイント間に回遊性があるかどうか。ないのであれば何故か。どうすれば点から面に広がるかということについて、アンケートの結果が教えてくれるのではないのでしょうか。</p> <p>これからアンケート結果を、共有の情報として各事業実施主体で有効活用すれば、いままで見えてこなかったものが、見える可能性があると思います。</p> <p>実施場所としては、例えば資料館、楽山亭(ライトアップ・なごみの会)まるごと与板、河川公園です。一番肝心な内容、実施時期・期間などはWGを立ち上げてからということになります。</p>
<p>19 与板の人材登録バンクの作成</p>	<p>イベント、講演等実施する際に個人的なつながりでの情報をもとにした、人探しが多いのが現状ではないかと思えます。</p> <p>与板地域在住で特技を持っている方の「技と知」を広く公募してバンクに登録することにより情報を共有することができると考えます。内容についてはWGを立ち上げて今後詰めることになります。</p> <p>なお、事業実施主体アンケート、バンクとも何がしかの経費が必要かと思えます。</p>

## 与板地域委員会協議項目一覧表

協 議 項 目	理 由
20 たちばな公園の集客 1 公園内での屋台の設置 2 公園沿いの旧黒川の清流化	与板においてもっとも有名な集客地を、さらなる集客を目指すため。
21 消防団員の減少について	現在の与板における消防団員は、定数はもとより近在の地域に比べ、人口の割りに非常に少ないし高齢化している。自主防災会は設置されているが、高齢者が多いように見受けられる。 現状のままでは、さらに団員数が減っていく可能性があるが与板地域としてこれでよいのだろうか？
22 図書室の設備の向上	長岡市立図書館のカードを使えるように整備したらどうか。(今は、手書きで借りると聞きました)規模が小さいのは仕方ないが、予約システムや検索などもできる様に。
23 誰でも楽山亭へ	楽山亭に足の不自由な方や高齢の方も行けるような方法はないか。車椅子で登れる道とか・・・
24 与板地域のお土産	「与板」のお土産が少なすぎるのでもっと増やす。 「よいたん」を使った商品 日持ちするもの。 兼続で来る方もいるのでグッズにもう少し力を入れる。
25 地域資源とその活用方法	まだまだ与板の資源はあります。 神社・寺・塩ノ入の井戸・馬越の塩工場など
26 今ある祭りや行事をもっとパワーアップ！！	盛り上がるイベントにすれば、周りの地域から注目され人の流れができる。
27 ゴミの問題	地域から全国へ問題提起 この法律では田舎の山や川がゴミ捨て場になってしまう。 お年よりはゴミの分別ができなくてゴミが捨てられなくて困っている。
28 河川公園周辺のアピールや使い方の見直し	高速道路のスマートインターチェンジの追加により、交通量も増えるので人の注目度も上がり、いろいろな人の集いの場になるはず。 フリーマーケットや野菜売り。いらなくなった子供服やおもちゃ、チャイルドシートなどの交換や販売。
29 「よいたん」のご飯	ご当地グルメについて公募と同時進行で、おむすびの里与板を目指しませんか。 いっとキますがおにぎり(トキのイメージのおにぎり)。 与板の初期の赤い塩 与板一番農家100%コシヒカリ 梅干 タレ&大橋豆腐屋の油揚げを入れたおにぎり。

## 与板地域委員会協議項目一覧表

協 議 項 目	理 由
30 河川公園(遊園地)の整備活用について	町内外の利用者から安心して遊ばされると好評の遊園地も、より一層の安全策、改善等を施すことにより人を呼び込むことには大きな効果が期待できる。
31 与板・見たり・聞いたり(郊外編)	検討課題項目を町中心から郊外に目を向けて地域資源、観光、情報発信の機会を得ることで与板再発見につなげる。
32 ハード面を検討すべき	与板町の将来展望が見えてこないものの一つとしてあるべき姿のハード面を検討委員会を立ち上げ提言すべきと考える。
33 避難場所の見直しについて	平成23年度第1分科会で、各地域で指定されている避難場所について、実態に合った見直しを求めて提言したが、採択されず直近の重要課題と考えるので再検討すべきである。
34 天地人通りの活用	住民の考えを出し合い完成した天地人通りを、もっと楽しい通りとして活かしていけたらよいと思います。 通りの両側には、数々のいろんな種類の花や木が、私たちの目を楽しませてくれています。ここで、植物についての学びの場にしても良いのではないかと。時には若者のパフォーマンスの場となってもと思います。そして、管理についても住民の積極的な取り組みをもう少し考えた方がもっと身近な通りとなるのではないかと。
35 高齢者の見守り	これからはどの地域においても高齢化は免れない状況です。 災害時においては、どの家が、どんな家族構成となっているのか、各町内においてわかっていることにより、声かけがすばやくできるのではないかと。そうできるには、日常からの声かけをするやり方を各町内で考えたらどうか。町内の結束も強くなるのではないかと。
36 団塊世代の人材活用	社会生活、家庭生活といろいろな場面の経験を積んできた中での力を集結し、地域で活かせたらと思います。
37 型破り楽山亭活用法	楽山亭は今や与板の大好きな広場となりつつあります。 ライトアップを毎年やることにより町内外の方々の来町も増えています。また、「なごみの会」の方々の「おもてなしの場」としても定着してまいりました。 今では、わりと静の部分でじわじわと人が集まっています。この楽山亭をもう一步踏み出し、華やぎの場はどうかと思います。 この場のすばらしい眺め、空気感の中で花嫁、花婿が並んで座っていたら素敵な光景かなと思い年1回、限定1組の結婚式はどうかと考えました。
38 イベントの盛り上げを考える(町内外へのPR)	与板には、年間で数多くのイベントが行われていますが、住民参加が少ないように思われます。この点について、各イベントも毎年、時間もやることも代わり映えしないとマンネリとなり、足が向かなくなるのではないかと。 広報の呼びかけをまめに行ったり、参加住民のアンケートを取ったりして、次回の時につなげていく。 参加住民が、どうしたら楽しめるかを第一に考えたやり方のイベントを考えてはどうか。 各団体がイベントに出店するが、与板としてまとまった考えを持っていくことが大事ではないかと。